

大月町

98号

9月定例会

議会だより



9月議会

令和元年9月第4回大月町議会定例会は9月12日から20日までの会期で開催され、報告3件、専決1件、契約2件、条例4件、令和元年度補正予算8件、決算認定9件、その他1件の計28件が議案提出され、全議案が承認・可決しました。

一般質問は3名が登壇し、執行部をただしました。

もくじ

- P 2 はじける笑顔
- P 4 定例会
 - P 4 補正予算
 - P 5 条例等
 - P 6 決算審査
 - P 8 決算質疑
 - P 12 辺地総合整備計画
 - P 13 委員会活動
- P 14 一般質問
- P 17 みんなの広場
- P 18 こんにちは

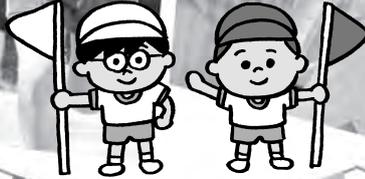
表紙写真によせて



こども神輿で僕も私も
「わっしょい!わっしょい!」

はじける笑顔

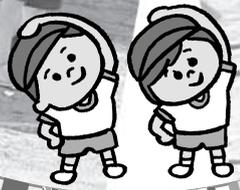
統合による最後の運動会



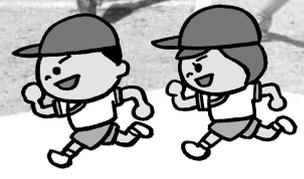
弘見保育所



つきなだ保育所



柏島保育所



一般会計補正予算の 主な使い道



お母さんもリフレッシュ

問 あさがお敷地内の危険物撤去工事とは。

答 施設の南側に旧幡多農高大月分校の浄化槽施設と思われるものが撤去されずに残っています。老朽化が激しく、上蓋等も腐食し、踏み抜く危険性があり、早急に撤去するための工事です。

問 ファミリーサポートセンターの進捗状況と年度内の目標は。

答 関係部署と協議の結果、民間への委託から町の直営が有利ではないかということになり、今回補正を行い事業を進めていきます。年度内の目標は国県からの補助が受けられる会員登録20人を目指し取り組んでいきます。



自然に囲まれた最高のロケーション

問 エコロジーキャンプ場に自然体験型観光として管理料・施設整備費・備品費などの予算計上しているがその内容は。

答 改修に伴う設計委託管理費で170万円、工事請負費で1615万円です。キャンプ場は平成7年のオープン以来、大きな改修はしていなかったため今回改修工事に踏み切りました。また、檜西海岸から古満目湾の国立海中公園区域の観光拠点化を計画しています。その拠点としてキャンプ場をリニューアルします。

令和元年度9月補正予算

(全員賛成)

会計名		補正額	総額
一般会計		1億8264万円	59億3850万円
特別会計	国民健康保険	20万円	9億1003万円
	水道	114万円	2億4067万円
	特別養護老人ホーム	99万円	3億5309万円
	介護保険	1336万円	8億2958万円
	漁業集落排水処理事業	63万円	1534万円
	後期高齢者医療	261万円	9812万円
病院事業		90万円	5億2775万円

条例等

条例 (全員賛成)

○大月町簡易水道条例の一部改正

【内容】 水道料金表の料金を消費税込み額から消費税抜き額に変更。

○大月町漁業集落排水処理施設の設置及び管理等に関する条例の一部改正

【内容】 施設利用料金表の料金を消費税込み額から消費税抜き額に変更。

○大月町印鑑条例の一部を改正する条例

【内容】 住民基本台帳法施行令及び印鑑登録証明事務処理要領の一部改正に伴い、印鑑登録証明書での旧姓の記載を可能にする。

○成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する条例の制定

【内容】 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が、令和元年6月14日に公布されたことによる関係する条例の整備を行った。

承認 (全員承認)

○橘浦漁港機能高度化工事請負契約の変更に係る専決処分承認

【変更の理由】

既設の舗装状態が悪いため追加工事となり費用が増額となった。

また、町内外の工事件数が多いため資材入荷が出来ない状況が続き、さらに台風10号の影響により工事現場も被害を受け工期を延長することとなった。

【変更事項】

契約額 9988万9200円

工期 平成30年6月21日から

令和元年9月25日

【契約の相手方】

大月町銚土604番地21

月灘建設株式会社

契約 (全員賛成)

○町道樫西線法面対策工事請負契約の変更

【変更の理由】

法面掘削において、想定していなかった軟岩が露出したため設計上する土質の変更と、土砂流出防止の苗木を植えるための木柵を延長したことなどにより工費の増額となった。

【変更事項】

契約額 9460万8000円

工期 平成31年3月18日から

令和元年9月28日

【契約の相手方】

大月町銚土604番地21

月灘建設株式会社

○普通河川音無川河川災害復旧工事請負契約の締結

【契約金額】

6656万8700円

【契約の相手方】

大月町弘見233714

松田建設有限会社

【契約期間】

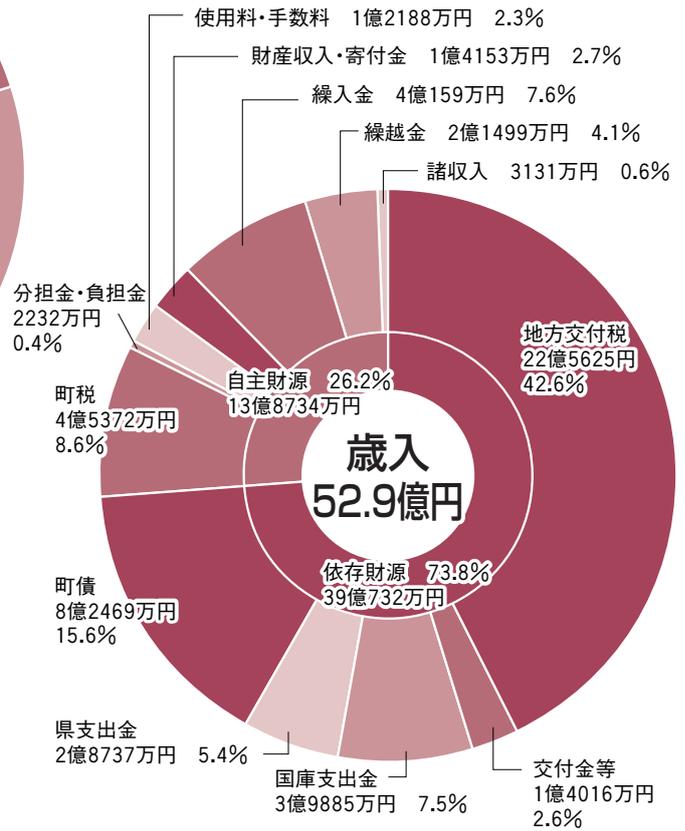
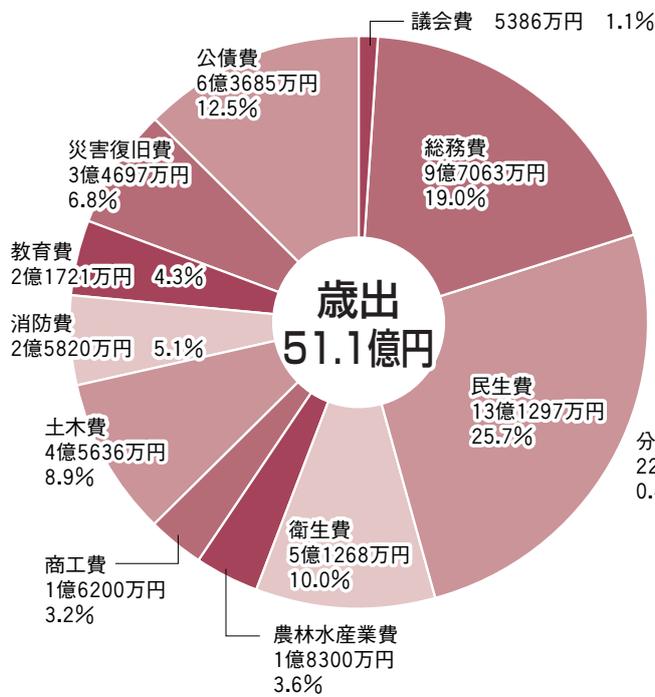
契約発効の日から令和2年3月31日まで



工事の様子

一般会計決算

一般会計



健全化判断

平成30年度の決算は資金不足がなく健全な状態。

(単位：%)

	備 考	平成29年度	平成30年度	早期健全化基準
実質赤字比率	自治体が自由に使える収入の標準額に対する、普通会計（一般会計、住宅新築資金等貸付事業）の赤字額の割合	赤字なし	赤字なし	15.00
連結実質赤字比率	自治体が自由に使える収入の標準額に対する、一般会計、特別会計全ての赤字額の合計の割合	赤字なし	赤字なし	20.00
実質公債費比率	収入に対する借金返済額の3カ年平均の割合	6.9	7.9	25.0
将来負担比率	自治体が自由に使える収入の標準額に対する、一般会計、特別会計、一部事務組合が将来負担すべき実質的な負債の割合	32.4	43.4	350.0

公益企業の経営

平成30年度の大月病院事業、水道事業、漁業集落排水処理事業ともに資金不足なし。経営健全化基準は20.0%。

平成30年度

歳入歳出決算認定

会計名		歳入	歳出
一般会計		52億9466万円	51億1074万円
特別会計	特別養護老人ホーム	3億2656万円	3億2656万円
	国民健康保険	9億1125万円	9億1105万円
	水道	2億9521万円	2億7801万円
	介護保険	8億560万円	8億6万円
	漁業集落排水処理事業	506万円	436万円
	後期高齢者医療	9462万円	9201万円
病院事業会計		6億766万円	5億7641万円
計		83億4062万円	80億9920万円
会計間重複額		5億1421万円	5億1421万円
純合計		78億2641万円	75億8499万円

監査委員の意見(要旨)

効果的、効率的な予算執行を

総額増加

一般会計の歳入総額と歳出総額は、それぞれ前年度と比べ増加している。一般会計の形式収支、実質収支は赤字となっているが、当該年度のみ収支を示す単年度収支は赤字となっている。

繰越明許費

繰越明許費は、国の平成30年度補正予算に伴う漁村再生交付金事業、臨時地方道路整備事業、防災・安全交付事業、空き家対策総合支援事業、災害復旧工事などとなっている。

歳入

歳入では、自主財源の根幹である町税の収入は増収となり滞納繰越額は減少している。

特別会計

特別会計や企業会計は本来ならば、特定の歳入をもって歳出に充てるものであり、一般会計からの繰入金は必要最小限にとどめるよう努力され、事業運営の一層の効率化及び事業収入の増収に取り組むべきである。

滞納・未収金

それぞれの会計において、滞納、未収金が多く発生している。町民負担の公平性を損なうことのないよう、徴収に向け一層の努力を望むものである。

厳しくチェック

補助金の活用は適正か

中平 災害救助費の歳入は国県からの補助金850万円。歳出は2100万円。なぜ歳出が多いのか。

答 災害救助費は、避難所の開設や被災者の救済にあたった職員の

手当が対象です。ボランティアのトイレの借り上げ料、浸水家屋の消毒液や噴霧器なども補助対象にはならなかったため、歳出が多くなりました。

谷 民生費の障害者支援費は800万円ほど増えているが、扶助費は不用額が611万円となっている。補正まで組んで不用額となった根拠を。

答 更生医療費助成金の対象は重い心臓疾患の方、人工透析にかか

る医療です。全額補助の生活保護の方が増えたので増額になっています。611万円につきま



沢山のボランティアにご協力いただきました

しては、対象者からの請求が年度内に来る予定でしたが、遅れて間に合わず、次年度の4月以降に回ってきたので、その分が平成30年度の予算で不用額となりました。

学びの場の充実を

すると思います。

山本 到達度把握・授業評価システム推進事業に19万円とあるが、このシステムの内容とその目的は。

答 到達度把握システムは、小中学校で実施しています。どこまで理解できたのかを把握するテストです。また、授業評価シ

テムは、授業の内容が良かったかなど意識調査を行うものです。

野村 通園バス委託料は、おおつき保育所ができた時どうなるのか。

答 11月中旬までに新たな保育通園児の確認をして、来年度から送迎ができるようになります。

答 当初計画した設計図は頂いておりますので、この設計を基に新たなものにするため、変更設計の費用は発生

また、授業評価シ



子供たちにとって自慢の町に

町の取り組み

介護職員の確保は

中平 特別養護老人ホームの修繕料の説明と、介護職員の確保の課題は。

答 修繕料は換気扇、水道の自動センサー、非常用の発電機、配膳車などの修繕です。介護職員の基準は確保出来ています。今は

29名いますが1名産休に入っているため実質28名です。年休や病休等がありますので、あと2名程度いけば不測の状況にも対応できます。そのため職員の募集をかけていますが、見つからない状況です。



入居者も職員も快適な施設に

中平 高齢者対策費の不用額1432万円の理由は。また、備品購入費に253万円と193万円と多額な金額を流用している理由は。

とと、繰越で実施しましたデイサービスさんの設計委託料での不用額1115万円が主な要因です。流用については、繰越事業のデイサービスさんの整備にかかる備品と消耗品なので、繰越明許費の設計監理委託料から流用し購入しました。

予算の使い道は



新しくなったデイサービスさんご

山本 母子衛生費・委託料の不用額40万円は予算の割に多額だがその理由は。

答 国保連合会や医療機関への健康診査の委託料ですが、見込み受診件数が少なかったため、32万円くらいの不用額が出ています。出生数もここ数年10人〜20人くらいの間で推移しており、対象者数も減っています。



元気な子どもたち

災害復旧は進んだか

高野 災害時応急対策業務委託料、1億2800万円は業者に委託か。

答 建設協会に委託していますが、緊急の場合だったので一部は建設協会以外の方にも委託しました。

建設協会に崩土の撤去や応急的に急ぐ所、緊急性が高い所をお願いして、協会内で対応してもらいました。

谷 災害復旧は今年度中に100%の発注を目指してやるということだが、業者が手一杯で足りていないと聞いた。どのように対応していくのか。

答 災害復旧の進捗状況は、建設協会等とも話しながら、業者の手持ち状況も考え入札を実施していますが、当初予定の進捗にはなっていません。現状では

入札しても着手は来年の4月以降になる案件を出すべきかどうか判断しながら入札を行っています。

谷 泊浦の河川変更は、国土強靱化の予算で町長は前向きな方向でやると答えたが、国土強靱化事業でやれる可能性はあるか。

答 国土強靱化の緊急防災の起債事業で調査し計画を提出しました。この3カ年で事業が終わるものについて採択になるとのこと、委託業務1500万円の補正予算の承認を頂きました。

今後、測量委託をしますが、来年度一杯でやらなければならない事業でどこまでできるか検討していきます。下流から上流まで幅を広げれば一番良いので

すが難しいと思われる。安原 長沢ダムを水源とした水道は、豪雨の度に濁った状態が続く。この設備工事費に1億4200万円くらい支出しているが、これにより豪雨対応の整備ができていくのか。

答 昨年7月の災害でなかなか濁りが取れない状態が続いたため、急ぎよ施設整備費の一部5000万円で整備しました。微粒子までもろでできる装置を入れたので、よほどのことでない限り濁ることはないと思います。



上空から見た長沢ダム

高野 消防施設費の消防車等修繕料110万円と災害対策費の修繕料150万5000円の説明を。

答 消防車等修繕料は、消防車の車検や12ヶ月の点検、故障した時の修繕料です。災害対策費の主な修繕箇所は、平山地区の避難路修繕です。避難路をつけても水はけが悪かったので、溝を3箇所抜いて水はけを良くしました。

避難路の修繕は



水はけを良くして安全に避難



復旧が進む現場

元気で活発な地域に



一次産業をどう守るか

新規就業者確保は

安岡 第1次産業の新規就業者への補助金について、希望者にすぐ対応できるような組んでいた予算だと思うが、減額の原因は何か。

答 農業に関しては、研修後の自立生計の不安感、希望する品目の受け入れ農家が少なくといったことが原因で、

新規就農希望者と受け入れ農家のマッチングがうまくいかず、研修につながっていません。

漁業も自立して生活していくのは厳しい状況なので、雇用型で企業に雇ってもらう方向でないとは集まらないと思われれます。

浦木 地域公共交通確保基礎調査業務委託料255万円の調査結果は。また、今後の取り組みは。高齢者が増え、足の確保が難しい現状を解決する施策が必要ではないのか。

答 道の駅の改修・多機能化という課題の中で、道の駅からの町民

の移動手段の確保を目的として、昨年町バスの在り方を含め現状の

公共交通に対するニーズ調査を行いました。その結果を受けて本年度地域交通会議を設置し、令和元年度中に大

月町の交通体系計画を作成するために、町バスやコミュニティバス、福祉色が強い移動手段も含めて検討していきます。

浦木 集落活動センター補助金302万円が

今年で3年間の計画を終了するが、現在の経営状況と来年度以降の見通しは。

答 平成30年度をもって県、町の補助事業は完了していますが、現状はセンターの維持管理費が大きなネックになるところです。レストラン事業のモーニングは1日平均56人、ランチは46人利用者があり、地域を元気にする憩いの場になっていると思います。

レストランの原材料費などは、利用料でま

かなわれ、運営費を捻出しています。しかし、ボランティア色が強いので継続させるために賃金を支払える仕組みを地区と協議をしています。

県下の集活センターでも自立に向けた取り組みをしています。単独自立で活動できる収入の確保に至っていないのが現実です。今後も県の助成金等を活用しながら、継続可能な取り組みにつなげていきます。



町内を繋ぐ公共交通



地域の憩いの場「姫の里」

辺地総合整備計画

辺地に係る公共施設の総合整備計画として3地区（一切・才角・柏島）の整備計画を可決しました。

〈辺地とは〉交通条件及び地理的、経済的諸条件に恵まれず、他の地域に比較して住民の生活の利便性が著しく低い山間地、離島等の地域で、政令で定める要件に該当している地域です。こうした地域間格差の是正を図ることを目的に制定された「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、「辺地総合整備計画」を定め、辺地対策事業債等により財政上の支援を行っています。

一切 道路法面整備 1160万円



柏島 漁業集落排水処理施設大規模改修 1000万円



才角 消防車両の更新 865万円



※写真は同型車両

体験型観光の振興(中間報告)

産業建設常任委員会所管事務調査

本委員会は、まちづくり推進課及び観光協会と、大月町の体験型観光の現状・課題等について意見交換を行いました。

本町の自然、特に海岸地域の景観を生かし、体験型観光に取り組んでいるものの、様々な課題があります。宿泊施設の拡充や大型バスの利便性の向上など、受け入れ体制を整えることが重要であり、さらにはマグロなどの食と合わせたメニュー作りも必要です。

今後も、町の観光を産業として発展させていくために、さらなる調査検討をしていきます。



豊かな自然を最大限に生かす



議員としてできることを

災害対策活動を支援します

議会改革特別委員会

災害時に「大月町議会災害対策支援本部」を設置することとしました。

万が一、災害が発生した際には現地に赴き、情報収集や住民の皆さんへの情報提供を行います。

「大月町議会」と書かれた青い服が目印になりますので、気軽にお声かけください。

一般質問の録音放送が

始まりました

大月町議会では、町民の皆様には議会をさらに身近に感じていただくために、9月議会から、告知端末の4チャンネルを利用した一般質問の録音放送を開始しました。

定例会が閉会した翌週と翌々週の金曜日から、1日2、3名ずつ午後1時からと午後7時から放送します。

放送スケジュールなどは、チラシでお知らせする予定です。ぜひお聞きください。



地震対策

感震ブレーカーの設置は 再度要望していく／町長



高野 真司議員



万が一に備えて

問 地震時の火災は災害後の通電も原因と報告されている。通電火災を防ぐ感震ブレーカーの設置は、前回も質問しているがその後どうなっているのか。

岡田町長 南海地震対策として国全体が制度を設けて取り組むように高知県町村会からも国に要望しています。町単独での設置は厳しいので、制度の創設を再度要望していきます。

農業政策

農業の位置づけは 重要な基幹産業／町長

問 国内外の情勢が農産物の貿易自由化へと規制緩和され、大月町の農業は専業農家数が激減している。このような情勢の中で農業をどのように位置づけして進めていくのか。

岡田町長 本町の一次産業の中で漁業、そして農業は重要な基幹産業です。農業による生産活動の中で、土地と水といった多面的、公益的機能を引き続き維持し、十分に発揮することが求められると考えています。

今後は、既存の農業を守っていくことから踏み込んで、どのように新しい農業に転換するかを踏まえながら対応していきます。

問 大月町の農業を支える従事者の高齢化や後継者不足などで農業生産量の減少が予想されるが、どのような対策をしているか。

岡田町長 維持対策として集落営農支援事業「森の里春遠集落営農組合」では集落の担い手が農業の維持発展活動に取り組んでいます。

農業生産量の増加対策として新規就農支援、施設園芸では増収効果のある炭酸ガス発生装置導入にかかる補助、また、有望品目産地化推進事業を創設し有望品目の新植栽培に取り組みなど様々な支援を行っていきます。



農家の強い味方

問 作付けや収穫時期だけにしか使わない作業機もあるので、購入するには負担は重い。農家負担の軽減のために農機具リースの支援を。

岡田町長 国や農協でリース事業が創設されていますが、それぞれには条件があります。

町で個々の農家への支援を行うのは、現状では難しい状況です。農家の個人負担の解消だけでなく、後継者不足、労働力不足といった問題に対応するためには、農家の皆さんが集団化しなければなりませんと考えています。



野村 満久議員

支援制度

就職奨励金を

慎重に取り組む／町長

問 町は人口減少に対して様々な支援制度を打ち出しているが、親元以後継者として帰ってきたり、新卒者や町内に住み就職したりした方に対し、優遇措置がない。一ターンのインターン問わず、就職奨励金制度を制定し、人となりを知り深く関わることで、定住人口の確保や町の活性化、町民福祉につながると思うが町長の考えは。

岡田町長 人口減少問題の解決は本町の重要課題と考えています。産業や福祉、そして住環境の改善、町単独で技術支援などの制度を設立し問題の解決に取り組んでいます。奨励金の創設ですが、全国自治体の取り組み事例などを参考に、その他の課題も含めて慎重に取り組みたいと考えています。



未来への投資を

窓口対応

適切な対応を

教訓を生かす／町長

問 町役場での窓口対応が時折適切でないことを確認している。各課で対応の研修を行っていると思うが、まだまだ不十分ではないか。きちんとしたマニュアルを作り指導することで、窓口に来た人たちに適切な対応ができ、気持ちよく役場を利用していただくことにより、職員に対してのイメージも良くなるのではないか。

岡田町長 職員の研修につきましては、新採時から実施しています。が、まだまだ強化しなければならぬと思っています。定期的に実施される能力向上開発研修にも

所管課長を通じて、職務に就いて必要となる各種の研修に参加できるように環境づくりを行っています。また大月町で実施する講師派遣

研修で、メンタルヘルス、窓口対応研修、人事評価研修などを実施しています。
町民に不快感を与えないよう、各管理職の対応も踏まえて今日の教訓を生かしながら対応させていきたいと考えています。



親しみのある町役場に

産業振興

反省はどのように進めるのか

しっかり検証していく／町長



浦木 秀雄 議員

問 町長は、在任6年半をどのように評価し、残り1年半の任期で何をしようとしているのか。また、第6次大月町総合振興計画、第1次大月町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みの反省はどのように進めようとしているのか。

岡田町長 評価としては道半ばと考え、残り1年半で、昨年の7月豪雨災害の復旧復興、大月町まち・ひと・しごと創生総合戦略の次期計画を作成し、子育て支援等に取り組みなくてはならないと思っています。次期計画は反省をしながら、課別ヒアリング、推進本部会議、有識者による推進会議、住民アンケートによる検証、国、県との整合性も図ります。人口減少対策も含めて取り組みます。



海岸地域の古満目

災害時の弱者救済

個別支援計画を作るべき

きめ細かに作る／町長

問 地震・津波・豪雨災害に対する弱者（障がい者、交通手段を持たない高齢者など）救済の個別支援計画を作るべきではないか。また、旧月灘中学校体育館など、住民の声を活かして、環境整備、食料など対応の改善を図るべきではないか。

岡田町長 海岸地域、山間地域と温度差があります。弱者救済も含めてきめ細かな個別計画を作ることについて考えています。危機管理課長 旧月灘体育館のバリアフリー化、障がい者のトイレの確保の工事を今年度中に行い、住民のために備品、食料品等の備蓄も充実させます。

教員の多忙化解消

国に申請し、町も努力を

個にに応じて対応／教育長

問 教員増、教員の事務量減、指導内容改善の学力テスト、本町教育委員会の学校訪問の際に指導案の提出を求めない、持ち帰り業務も認め環境改善をする等、教員の多忙化解消のため努力すべきではないか。

濱崎教育長 教員増、事務量の軽減など、県教育委員会、西部教育事務所に申し込んで環境改善に努めています。学力テストは学力定着のため継続してやっています。指導案の提出は業務時間の増になっていないと思っています。持ち帰り業務は、ないと判断していませんし、教員個人の力をあげるための勉強で関知できません。



子ども達のためにも多忙化解消を

みんなの 広 場 私 の 想 い

安心して働ける地域に



中田 なかつた みきき さん（郷）

共働きの場合、子どもが学校から帰っても見る人がいないので、夜7時くらいまで学童保育かその代わりになるような場所がほしい。宿毛には学童保育があるが大月にはないため、親が仕事の間、宿毛へ子どもを預けに行っている。

夏休みなど長期の休みの間は、特に子どもだけで過ごす時間が多くなり不安。夏休みの

共働きの場合、子どもが学校から帰っても見る人がいないので、夜7時くらいまで学童保育かその代わりになるような場所がほしい。宿毛には学童保育があるが大月にはないため、親が仕事の間、宿毛へ子どもを預けに行っている。

宿題を一緒にできたり遊んだりできる場所がほしい。ほっとセンターがあるが、大人の目が行き届かないためトラブルもある。使われてない施設も大月にはある。有料でもいいのでそこを活用して、安心して大人が働けるような地域にしてほしい。

私も含めて何人かのお母さんたちの願いです。

地域を守るために

岩崎 いわさき 晶功 あきみち さん（春遠）

少子高齢化・後継者不足が進み、地区の維持管理が難しくなっている中、春遠では地域を守るため、少しでも地区の役に立てればと3年前から集落営農事業に取り組んでいます。

組合員が、会社員や専業農家など様々な業種で構成されているため、出来るだけ全員が

今後、益々人手不足が深刻化する中、先進技術の導入で作業の効率化を図り、春道地区以外の作業もできるよう頑張りたいと思います。



水稲が主な作物で、育苗から田植え、稲刈り、お米の販売まで全て組合で管理し経営の安定化を図っています。鳥獣被害もあります。防護柵や町内のハ

